

# 「熱中症」への対応手順

静岡水落キャンパス

## 1 「熱中症」のおそれのある者を発見、または自覚したら

**他覚症状** ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣、嘔吐 等

**自覚症状** めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温、脱力感 等

▶ 質問をして応答をみる

「ここはどこ？」「お名前は？」  
「今何してる？」

「返事がおかしい」「ぼーっとしている」

普段と様子がおかしい場合も  
**熱中症のおそれあり**

## 2 すぐに授業（業務）及び部活動等からの離脱、事務局・保健室へ連絡 **救急要請**

●決して躊躇をせずに中断する ●すぐに保健室or事務局へ連絡（閉室時は守衛室）

### ！ 意識障害有無の確認

意識障害なし  
**退避**

意識障害あり  
**救急隊要請**

すぐに救急隊を  
要請し、同時に  
応急手当を  
する



平日の日中

保健室・事務局が対応

土日等、  
事務局・  
保健室が  
閉室している  
場合

①常葉大学静岡水落キャンパス 守衛室へ報告

**054-297-3200(080-2622-3372)**

②静岡県救急安心電話相談窓口「**#7119**」へ架電 相談・指示を仰ぐ

※部活動等の活動時に活動責任者が不在の場合は、活動責任者へ連絡・報告をする

### 涼しい場所へ退避

涼しい場所を選び、衣類をゆるめて寝かせる

▶屋外の場合はすぐに日陰などの身体を冷やせる場所へ移動

救急隊到着までの間や経過観察中は、患者を一人にしないで見守る

脱衣と冷却

- 積極的に体を冷やす
- 水分・塩分を摂取する
- 水をかけたり、濡れたタオルを当てて扇ぐ
- 氷やアイスバックがあれば、頸部、脇の下、足の付け根などの大きい血管を冷やす



- 0.1～0.2%食塩水 or スポーツドリンク
- 熱痙攣の場合は生理食塩水（0.9%）など濃い目の食塩水を補給

## 3 経過観察～善後処置

観察継続  
十分な休養

水分・塩分の摂取

できない

できる

症状改善

症状改善

改善しない

**病院へ**



身体を冷やしながら  
一刻も早く搬送！



常葉大学・常葉大学短期大学部

問い合わせ

常葉大学静岡水落キャンパス 学生課

**054-297-3203**